

可児市公共施設の温室効果ガス排出量の公表

2023年度の可児市公共施設における温室効果ガスの排出量は、6,173,454kg-CO₂となり、基準年度(2013年度)から15.9%の削減となりました。

前年度と比較すると、ガソリンやLPG、都市ガスなどにおいてCO₂排出量がやや減少したものの、温室効果ガス排出量の80%を超える電気による排出量が増加しています。2030年度の削減目標達成のためには、公共施設における再生可能エネルギーの導入や節電対策を強く進めていく必要があります。2025年度から本格化する「GXアクション重点事業」の推進が大変重要になります。

◆ 温室効果ガス排出量の推移

(単位 : kg-CO₂)

用途	排出源	2013年度 CO ₂ 排出量	2022年度 CO ₂ 排出量	2023年度 CO ₂ 排出量	2023年度 2013年度比増減率
施設	電気	6,215,693	5,198,402	5,292,142	▲ 14.9%
	LPG	131,590	93,068	91,512	▲ 30.5%
	都市ガス	114,138	167,653	165,354	44.9%
	灯油	675,012	494,479	480,612	▲ 28.8%
	A重油	79,376	-	1,337	▲ 98.3%
公用車	ガソリン	109,875	130,096	120,807	9.9%
	軽油	13,328	19,886	21,690	62.7%
	LPG	1,613	-	-	皆減
合計		7,339,013	6,103,586	6,173,454	▲ 15.9%

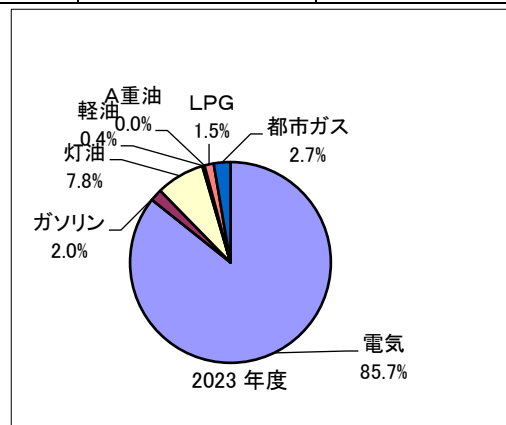
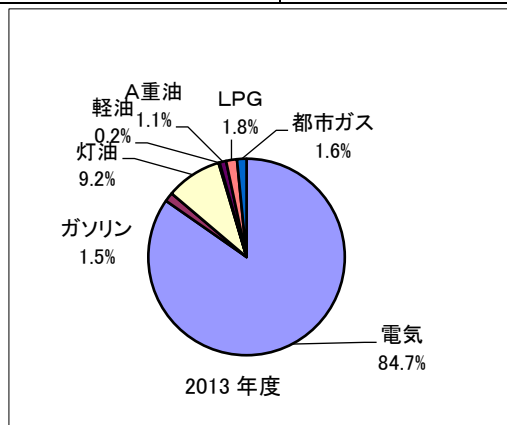


図1 排出源別の温室効果ガス排出比率

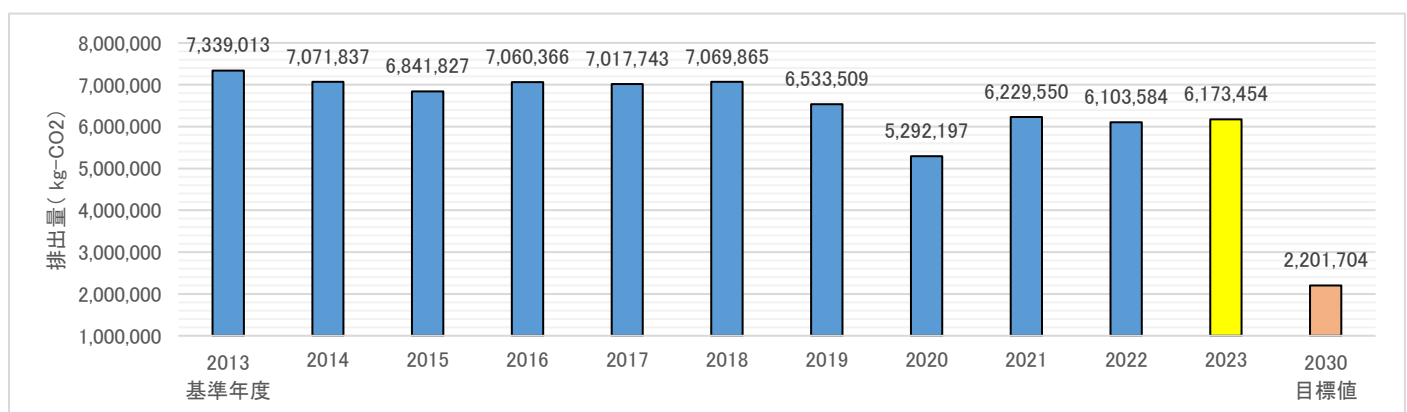


図2 年度別温室効果ガス排出量